

加東市健康増進計画の進捗状況

生活改善に向けた指導の充実	健診当日の保健指導や健診後に健診結果個別相談会を実施し、ハイリスク者等の指導に努め、健診当日の保健指導者数および健診結果個別相談会参加人数は前年度より増加した。 健診当日指導数 325人（R5：285人） 健診結果個別相談会参加人数 55人（R5：59人）
精密検査の確実な受診	ケーブルテレビで、精密検査の受診啓発を行った。また、早期に受診が必要な方に訪問等で受診勧奨を行い、特定健診精密検査受診率は直近2～3年と比較して最も高い。 特定健診精密検査受診率 27.9%（R5：22.6%）
市民の主体的な健康づくりに向けた啓発	広報誌やケーブルテレビを活用して、市民に健康づくりに関する情報提供を行った。また、健（検）診時に健康手帳を活用した健康管理の推奨を行った。 健康手帳交付数 564人

男性のがん検診の受診促進	50～70歳の5歳刻みの節目年齢を対象に、受診料金を無料とし、受診しやすい体制を整えている。受診人数は前年度と横ばいである。 前立腺がん検診受診人数 892人（R5：897人）
精密検査の確実な受診	がん検診精密検査未受診者に対し、文書や電話で受診勧奨を行った。精密検査受診率は、肺がん、前立腺がん、乳がんについては前年度よりも増加した。 【精密検査受診率】 胃がん:70.0%（R5:88.9%） 肺がん:74.3%（R5:71.0%） 大腸がん:68.4%（R5:71.4%） 前立腺がん:69.1%（R5:64.4%） 子宮頸がん:81.8%（R5:94.1%） 乳がん:89.1%（R5:84.5%）
がんに罹患しても安心して暮らせる環境の整備	がん患者アピアランスサポート事業により、抗がん剤治療などによる外見の変化のため、医療用ウィッグや乳房補正具を購入した方に購入費用の一部を助成し、身体的・精神的負担の軽減を図った。（助成人数：8人） また、若年者在宅ターミナルケア支援事業については、令和6年度は利用者はなかったが、利用できる体制は整っている。

◆行政の取組

取組名	取り組み内容と評価
妊娠期から子育て期における切れ目ない支援	母子健康手帳交付時に面接を全数行った。必要な方には、面接や電話、訪問等を通して切れ目ない支援を行った。 母子健康手帳交付人数 291人
子どもの健やかな成長への支援	健診の受診率は、一部目標値に達していないが、全ての健診で96%以上の受診率である。健診や相談等の場を通して子どもの成長発達の確認を行うとともに適切な生活習慣の啓発を行い、未受診者においても、全数把握に努め、子どもの成長発達の確認を行った。
支援が必要な子どもや育てにくさを感じる親への寄り添う支援	養育支援ネットにより、支援が必要な児の情報提供があった場合、早期に訪問等を実施し、適切な時期に支援が受けられるよう療育や相談機関との情報提供を行った。 養育支援ネット件数 50件
思春期保健の充実	喫煙、飲酒、薬物乱用について、小学6年生及び中学3年生の保健の授業で内容を取り扱い、正しい知識の普及に努めた。また、スクールカウンセラーを各中学校区に配置し、保護者も含めて相談支援を実施した。 健康課では一部の高校生に向けて妊娠や喫煙、飲酒などの知識の普及を行った。
地域全体による子育て支援	地域にある社会資源等の啓発を行い、関係機関とは合同ケース会議等を行って、連絡調整を強化した。
虐待予防対策	赤ちゃん訪問や健診など様々な機会を通して虐待のリスクの有無を確認し、合同ケース会議等を通して、必要な方には関係課と連携して支援を行った。 検討会 12回／年 検討件数 149件／年

